

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果から読み取れる、 児童生徒や学校の状況

調査人数 小学6年生 1,001名 中学3年生 1,013名

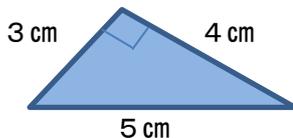
### (1) 学力調査から (※県平均数値は仙台市を含む数値)

- ・小・中学校とも、全ての教科において、県平均及び全国平均を下回った。
- ・小学校国語、中学校国語・数学で前回と比べて乖離が小さくなっている。
- ・小学校算数については、前回と比べて乖離が大きくなっている。
- ・平均正答数で見ると、小・中学校ともに、あと1問多く正解することで、全国値を上回るか、それに近い数値となる。
- ・国語では言語の特徴や使い方に関する事項や「話すこと」「聞くこと」の内容で全国平均を上回る正答率となり、基礎・基本を大切に学習を重ね、話し合いを重視した「主体的・対話的な深い学び」への授業改善の成果が表れてきている。
- ・算数・数学では全国平均を10ポイント以上下回る問題があった。中学校では無回答率が高い。小学校での乖離を中学校で縮小するのは難しいことが考えられ、小学校低学年から積み残しのない確実な指導が必要である。

### <全国平均を10ポイント以上下回った問題>

#### 小学校算数

2 (1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く



#### 中学校数学

2 数量の関係を一元一次方程式で表す

ノート2冊と800円の筆箱1箱を買った時の代金と、ノート4冊と500円のシャープペンシル1本を買ったときの代金は等しくなります。

ノート1冊の値段を求めるために、ノート1冊の値段をx円として、方程式をつくりなさい。ただし、つくった方程式を解く必要はありません。

5 反復横跳びの記録の中央値を求める。

下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横跳びを20秒間行ったときの結果を、回数の少ないほうから順に並べたものです。反復横跳びの記録の中央値を求めなさい。

<記録> 43 46 46 52 53 55 56 56 56 57

6 (2) 四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。

出題の趣旨…目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する。

## (2) 学校質問紙調査から

○：成果    △：課題

### ①授業の工夫・改善について

- 「学力向上に向けた5つの提言(宮城県教委)」、「石巻市立学校教職員スタンダード(石巻市教委)」、学習指導要領の趣旨等に基づいて、授業の工夫・改善に取り組んでいる状況がうかがえる。
- 小・中学校ともに一人一人の良い点や可能性を見付け、伝えるなど、積極的に評価している。
- 各学校において授業研究や事例研究、実践的な研修を行っている。

### ②家庭学習について

- 特に中学校において、家庭での学習方法について、具体例を挙げながら生徒に教えている。

### ③教科指導について

- △国語において「書く習慣を付ける授業」について小学校は肯定的回答が全国値を下回ったが、中学校では全国値を上回っている。
- △算数・数学において、「問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行った」については小・中学校ともに課題がある。
- △国語、算数・数学の授業における発展的な学習の指導には、課題がある。

## (3) 児童生徒質問紙調査から

○：成果    △：課題

- 「将来の目標や夢をもっている」と肯定的に回答している割合は、小・中学生ともに過去7回続けて全国値を上回った。
- 「人の役に立つ人間になりたい」と思っている割合は、小・中学生とも95%を超えており、全国値を上回った。
- △「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている・起きている」と回答した割合は、小学生は前回調査より低下しているが、中学生は、増加している。
- △「平日に1日当たり小学生で1時間以上、中学生で2時間以上勉強している」、「家で計画を立てて学習している」と回答した割合は、小・中学生ともに過去5回調査で最も高い値となったが、学習時間において中学生は全国値を下回っている。
- △「平日に1日当たり3時間以上テレビゲームをしている」と回答した割合は小学生で3割、中学生で4割を超えており、小・中学生ともに全国値を超えている。
- △「平日に1日当たり全く読書をしない」と回答した割合は特に小学生で増加しており、小中学生ともに全国値を超えている。
- △「学校に行くのは楽しい」と回答した割合は小・中学生ともに減少し、中学生については全国値を下回った。
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫した」と回答した割合は、小・中学生ともに大幅に増加し、全国値を超えている。
- △「授業の内容はよく分かる」について、小・中学校ともに国語においては全国値を上回るが、算数・数学においては全国値を下回る。
- △「問題を最後まで書こうと努力した」と回答した割合は、小・中学生ともに、国語、算数・数学両教科において全国値を下回る。

**令和3年度全国学力・学習状況調査結果・分析に基づき、「石巻市学校わくわくプラン事業」を展開する中で、下記の取組を推進する。**

**1 教員の指導力向上**

- ◎「指導力向上研修」を継続し、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から、教員の力量形成を図る。
- ◎「社会性と情動の学習」「協同学習」「友達同士で支え合う活動」「児童生徒の、望ましい行動に対する積極的な介入と支援」を意図的・計画的に実践することにより、「石巻市立学校教職員スタンダード」の具現化を図る。
- ◎宮城県学力向上マネジメント支援事業の成果を他の小・中学校にも波及させる。
- ◎「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業改善に取り組んでいく。
- ◎石巻市教科等指導員の取組において、「協同学習」の授業の実践等をまとめ、教員の指導力向上の推進の一助とする。

**2 基礎・基本の定着を図る学習指導の徹底**

- ◎漢字の読み書きや語句に関する問題、公式を活用する計算問題に課題が見られたことから、各教科の基礎・基本となる事項は「全ての児童生徒に確実に身に付けさせるもの」として指導を徹底する。
- ◎特に算数・数学においては、小学校低学年からの積み重ねが大切であることから、年度ごとにつまみずき解消を図るとともに、最後まで粘り強く問題に取り組む児童生徒を育てる。

**3 児童生徒の自己有用感の醸成**

- ◎小・中連携のもと、学習習慣の形成や学習指導において9年間の見通しをもった円滑な接続を図る。
- ◎授業はもとより学校の教育活動全体をとおして、他者と協力したり困難を克服したりする良さを味わわせる。

**4 生活習慣及び学習習慣の確立**

- ◎「早寝、早起き、朝ごはん」のより一層の推進を図る。
- ◎1日当たりのテレビゲーム等の時間が増えるほど各教科の平均正答率は低い傾向があり、健康面からも家庭におけるICT機器の使用について児童生徒に指導するとともに家庭に対する啓発を行う。
- ◎家庭学習時間の確保、家庭学習の仕方、家庭学習の内容について、小・中で連携した取組を行うとともに、家庭との連携を図る。